

L L ニュース

No. 31

October 15, 2005

愛知大学豊橋語学教育研究室

特集 一インターネットを使った語学学習一



インド ニュー・デリーのローディー公園に集う高校生たち

CONTENTS

◎特集 一インターネットを使った語学学習一	●インターネットでロシア検索(清水伸子) 16
●インターネットdeタイ語学習(加納 寛) 2	●インターネットという辞書
●Radio_Fr_solo(中尾充良) 4	－日本語学習にネットを使う－(山田克利) 18
●インターネットにおけるドイツ語講座 (トマス・グロース、シュテファニー・シュマウス) 7	●インターネットでコリアン(星合亘子) 20
●ネットを利用した英語学習のヒント －リスニング力アップに役立つ サイトと辞書サイト（武藤明弘） 10	◎教養とは何か、教養の語学とは －平和への道－(葛谷 登) 22
●インターネットを使ったTOEIC独習講座： Challenge for the TOEIC Test (川端朋広) 12	◎台湾遊学記 －花粉を逃れて－(上野由紀子) 24
○コンピュータで英語を学ぼう！ 13	◎LL Tea Time ●日本を知ろう(朴 鎮雅) 26
●インターネットから学ぶ中国語(中西千香) 14	●日本を冒險する(シモエス・エリザベット) 26
●漢語大食堂へようこそ(齊藤正高) 15	●ドイツ留学体験記(的場 徹) 27
	◎外国語検定試験奨励金について 28

インターネット de タイ語学習

国際コミュニケーション学部

加 納 寛

便利な時代になったものです。地球の裏側のことでも何千キロ離れた場所のことでも、インターネットを通してはほとんど時間差をおかずに見聞きすることができますようになりました。

これほど便利な道具を、語学学習に活かさない手はありません。では、タイ語学習において、どんなふうにインターネットを活用できるか、見ていきましょう。

1、ニュースを読解してみよう

各主要新聞の記事がネットで即日読めてしまうという驚きのサービスです（←古い）。たとえば、タイ最大の売り上げを誇る『タイラット』紙（本学豊橋図書館には紙媒体でも入っています）は、<http://www.thairath.co.th/> に接続すれば主要な記事が読めてしまいます。他に、売り上げ2位の『デイリー・ニュース』は、<http://www.dailynews.co.th/> で同様に記事を見るできます。

インターネットで記事を読む面白さは、記事の後ろに読者の意見が投稿されている点です。投稿を読むことができるのは、タイの読者たちがその事件をどう捉えているか、どう考えているかがうかがえて興味深いのはもちろん、その短い文章で自分の意見を表現する方法を学ぶことができるという点からもうれしい特典です。当然、皆さんも何か思うところがあれば投稿できます。

さて、こうした新聞記事もいいけれど、何が書いてあるかぜんぜんわからないというアナタには、まず日本語でタイのニュースを読んでみることをおすすめします。タイで発刊されている日本語新聞『バ

ンコク週報』は、<http://bangkokshuho.com/> で見ることができます。まずはこれを見てからタイ語紙に挑戦してもいいですね。

2、読み物を読解してみよう

インターネットは、読み物を探すには事欠きません。タイ語のサイトは無数にあるので、ネットサーフィンしながら探していくば、きっと自分にあった読み物にたどりつけるでしょう。それこそ硬い文章から軟らかい文章まで、居ながらにしていろいろなスタイルの文章を探すことができます。

皆さんにひとつおすすめするとすれば、それは名古屋大学に学ぶタイ留学生のページ

<http://www.tsnilife.com/> です。タイ人の視点から眺めた日本や名古屋が見えてきます。「名タイ辞典」（あたりみやーだけど「名古屋・タイ語辞典」のことだね。残念ながら名古屋弁の辞典でやにやーでかんけどよー、名古屋に関係ある言葉がタイ語で説明されるとなんだわ。いっぺん見てみなかんに）付きました。日本のニュースのタイ語訳コーナーもあります。これなら、勝手知ったる日本のニュースだから、タイ語で読んでも大丈夫だもんね。タイ語の星占いコーナーも付いています（この原稿を書くために開いてみて蟹座の部分を読んでみたけど、あたっていませんでした。よく見たら、2004年8月～9月用でした…）。Dr. Know（名前が似ているが、私ではない）の日本生活についての解説コーナーも、読むのが楽しみな部分です。日本人でも知らないかもしない日本が（とくに私のように品行方正な人間は、知らないことも多いわけですが）、タイ人の視点から書かれています。

3、情報を探してみよう

情報探しにもインターネットはその力をエイヤッと発揮します。たとえば、タイ語の百科事典をひきたいときは、とりあえずウイキペディアのタイ語版（<http://th.wikipedia.org/wiki>）を見てみるのもひとつの手ですね。

タイ政府の情報を探したいときは、とりあえず政府のサイト (<http://www.thaigov.go.th/>) をのぞいてみましょう。ここからいろいろな部局のページにアクセスすることができます。

旅行情報は、タイ政府観光局のページ (<http://www.tourismthailand.org/>) を見ておけば様々な情報が収集できます。

さて、そんなことを言っても、やっぱり情報は本で探さなきゃ、というアナタ（あるいは先生にそう宣告されちゃったアナタ：先生の言うことは素直に聞きましょう）には、

http://sunsite.berkeley.edu/Libweb/Asia_Thailand.html がおすすめです。タイの図書館のリンク集です。ここから各図書館に飛べば、蔵書を検索することができます。

本屋さんのサイトも存在します。たとえば、



田舎の郵便局にもインターネット用ブースが出現!!
(2001年8月タイ国チェンラーイ県チェンセーン郡の郵便局にて)

<http://www.chulabook.com/> は、チュラーロンコーン大学書店のページです。海外からの発注もOKらしいです（私は一回も成功したことがないけど）。VCDやDVDなども扱っています。

4、聞き取りの訓練をしてみよう

インターネットのすばらしいところは、これまで見てきたような読解訓練用の資料探しや情報収集にとどまりません。なんたって、聴解の練習までできちゃうんです。

テレビ局のニュース番組だったら、カラー・チャンネル5番（タイ陸軍放送局）のページ (<http://www.tv5.co.th/>) がおすすめ。新鮮なニュースを、テレビを見るのと同様に見聞きすることができます。何言ってるかわからなくても、映像も出ますから、映像で見当をつけることも可能です。

日本のニュースをタイ語で聞きたい人は、NHKの海外向け放送をタイ語で聞くのもいいですね。

http://www.nhk.or.jp/toppage/21_languages/ では英語やタイ語を含めて21ヶ国語が選択できます）まずは英語で聞いておいて、それからタイ語バージョンを聞けば、理解がグッと深まるはず。

何となくタイ語を聞きたいアナタやタイ語の歌が気になるアナタには、シンブリー県のラジオ局 (<http://www.tourtham.com/>) もいいです。このページには、一番下にカラオケ・ステーションが付いています。探したい歌の頭文字を選べば、歌のリストが表示されます。そこから目的の歌を選べば、歌詞がタイ語で表示され音楽が流れる仕組みになっています。収録されている歌の数も結構多いので、歌のCDを持っているけれど歌詞カードが付いていなかった場合や、こっそりタイ語カラオケの腕を磨きたい場合など、便利です。

なお、タイのCD等を購入したい場合には、<http://www.ethaicd.com> などがあります。海外発送も対応しています。タイ映画のDVDやVCDもラインアップされています。

5、発話のスピードアップを図ろう

他に、時間を決めてタイの友人とチャットをするのもいいですね。愛大生のタイ語の弱点は、授業だけでは会話に実用できるまでに理解と発話のスピードが速くならないことです。この点、チャットであれば、すぐに応答しないと会話が成り立たないので「ちゃっと」読んで「ちゃっと」書かんといかんわけで、スピード・アップができます。スピーディーに読み、そして書くための格好の訓練になるようです。

もちろん、メールを日常的に交換するのもよいですね。毎日文通するように相手と決めておけば、締め切りが決まっているわけなので、否応なく速く読んで速く書けるようになります。この「否応なく」ってのが教育や訓練では大切なですねー。

もうひとつ、チャットやメールでよいのは、どのタイ文字が、キー・ボードのどの位置に対応するのかを覚え、慣れるのに役立つことです（でも、手書きの文字にも慣れてね）。これは、将来、卒業論文を書いたり、就職して会社の文書を書くときに、きっと役立つでしょう。

というように、インターネットは、タイ語を勉強するにとても適した素材があふれています。もちろん、インターネットだけではダメですが、授業などのタイ語学習を補完するにはとてもよい方法です。とくに、日本国内でもアチコチに転がっている英語読み物と違って、タイ語の読み物は日本国内で入手するには数が限られてしまいます。その点、インターネットなら、古いものから最新のものまで、法律や条約などの硬~い文章から口語やまんがチックな軟らか~い文章まで、よりどりみどりに選ぶことができます。

ぜひ、皆さんにも、インターネットを活用して楽しく自学自習をすすめていただきたいものです。

Radio_Fr_solo

文学部

中尾充良

今回は、「インターネットを使った語学学習」という特集ですが、古いアナログ世代に属する私は、wwwという怪物にはどうしてもなじめず、つい私の育ったころのあの懐かしい原始的な道具たちの世界へと退行してしまうのであります。私が育ったころといえば、最大の発明品は、VHSビデオでも（そんなに若くはありません）テレビでも（そんなに年寄りではありません）ありませんでした。私がおこづかいで身の回りの物品の購入を始めたころに登場した文明の利器といえば、あのラジオカセットレコーダーつまりラジカセであります。まじめな語学子は、これで一生懸命語学のお勉強をした記憶があるのでないかと思いますが、語学嫌いであった（今でもたぶんそうです。不良教師ですみません）私の使い道はもっぱらお遊び用がありました。

そんな懐かしいラジカセをコンピュータの上で再現してくれるフリーソフトがRadio_Fr_soloです。Windows限定ですが、プリセットされている放送局はすべてフランス語。フランス語圏の代表的なラジオ放送局はすべて網羅されています。つまり、日本に居ながらにして、フランスに居るような音環境を作り出すことができるのです。そんなわけのわからないものを聴いても何にもならないと思っているあなたは、たぶん間違っています。赤ちゃんが言語を習得するときの過程を考えてごらんなさい。お母さんのおなかにいるときからして既に、周りの人たちが話す会話をふんだんに聴いているではありませんか。赤ちゃんがたどたどしい言葉を発するようになるのは、こうした大量の言語音を聴取した後なのです。

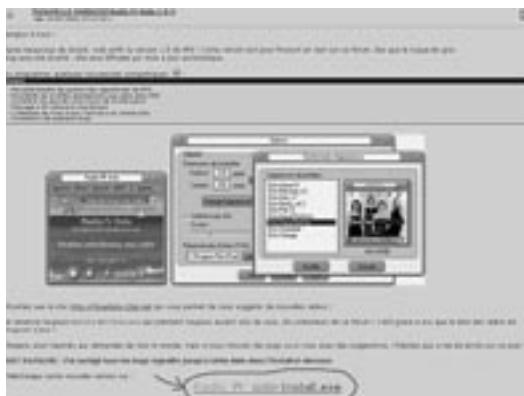
前置きはこのくらいにして、早速、ダウンロードとインストールの仕方に移ります。以下は、皆さん

がブロードバンド環境にあるということを前提にしています。そうでない方は、早急にどこかのプロバイダと契約するか大学のコンピュータでやってみてください。それから、ソフトのほうは、作者の Damien Servant さんが、どんどん宣伝してください、再配布してくださいと言っていますので、また、これまでインストールして問題が生じたという話も聞いていませんので、たぶん安全です。

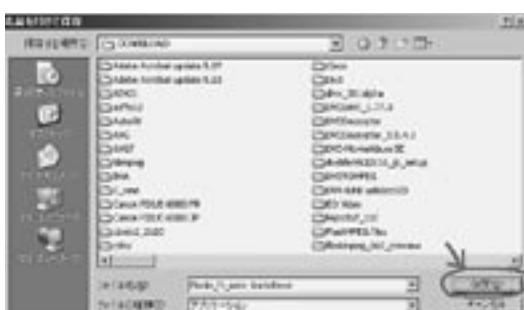
この原稿を書いている時点(2005-07-09)での最新のバージョン(1.9)は以下のサイトにあります。サイトが現れない場合は、Google その他で Radio_Fr_solo と入れて検索してみてください。他のバージョンのサイトに飛ぶ場合がありますが、これ以前のバージョンでも問題なく動作します。

<http://www.10qt.net/index.php/topic,8307.0.html>

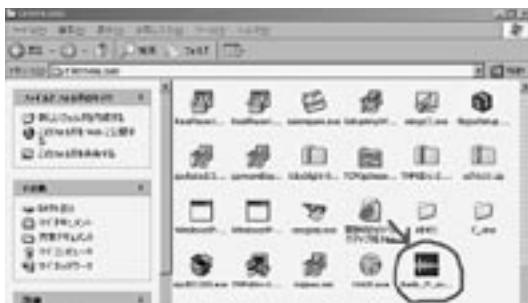
サイトの下のほうにある Radio Fr solo-Install.exe というリンクをクリックしてください。↓ 他のサイトの場合は、そのサイトの指示に従ってください。



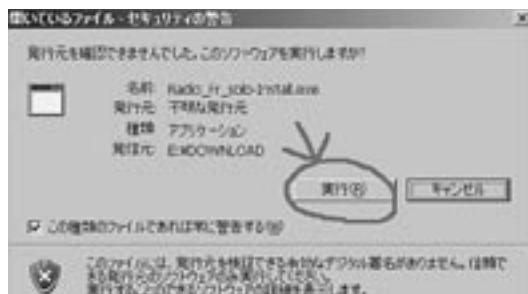
現れた画面で《保存》をクリックすると、さらに保存場所を訊いてきますので、適当なフォルダ(DOWNLOAD等)を選んで もう一度《保存》をクリックします。↓ ダウンロードが実行されます。



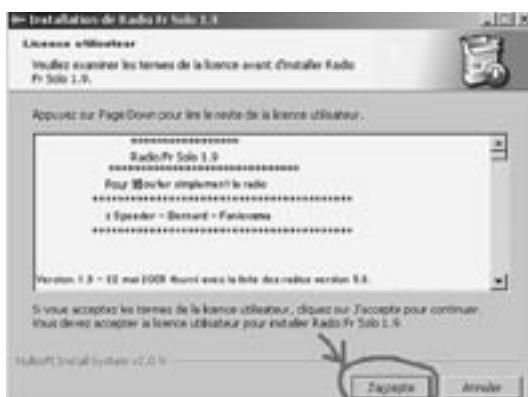
ダウンロードが完了したら画面を閉じてください。そして、ダウンロードしたフォルダへマイコンピュータを開くなどして移動して、Radio_Fr_solo.exe をダブルクリックします。↓ 音声波形の描かれた四角い茶色のアイコンです。



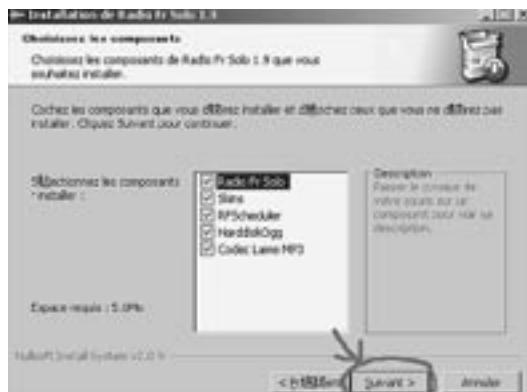
「発行元を確認できません。このソフトウェアを実行しますか?」という表示が出ますが、無視して《実行》をクリックします。↓



《Licence utilisateur》(使用許諾書) という画面が現れますので、《J'accepte》(同意する) をクリックします。↓



《Choisissez les composants》(インストールするアイテムの選択)、続いて《Choisissez le dossier d'installation》(インストールするフォルダの選択) という画面が現れますが、特別な事情がなければ、そのままの状態で《Suivant》(次へ) をクリックします。↓



《Choisissez un dossier dans le menu Démarrer》(スタートメニューで Radio_Fr_solo を加えるプログラム群を選ぶ)という画面が現れますが、そのままの設定で、《Suivant》(次へ)さらに《Installer》(インストールする)をクリックします。↓ インストールが始まります。



インストールが終わると、自動的に《lisezmoi.txt》(はじめにお読みください) ファイルが開きます。これを閉じて、さらに《Installation terminée》(インストール終了) の画面の《Fermer》(閉じる) ボタンをクリックして、次いで現れる《Radio Fr solo est installé le raccourci est sur votre bureau.》(Radio Fr soloのインストールが終りました。ショートカットはデスクトップ上有ります。) という画面で《OK》ボタンを押すとインストールは完了です。

初めて Radio_Fr_solo を起動すると、次のようにラジオ局リストをアップデートするための画面が表示されます。(表示されないときには、Radio_Fr_solo上の茶色の四角にテキストマークが付属しているボタンをクリックしてみてください。↓↓) この画面で《Télécharger》(ダウンロードする) をクリックするとラジオ局リストの更新が始まります。↓ 更新が終したら《Terminer》(終了する) をクリックします。ただしアップデートは必須ではなく、不具合(今まで聞こえていたラジオ局が消える)が生

じることもありますので、するかしないかは各自で判断してください。



使い方に移ります。デスクトップ上のショートカット Radio_Fr_solo (音声波形の描かれた四隅の丸い茶色の正方形アイコン) をダブルクリックすると次のようなスキンの Radio_Fr_solo が現れます。中央の窓右側のプルダウンボタンを押して、表示されるラジオ局の中から聴きたい放送局を選びます。↓ フランスの国営放送である Radio France のうち、NHK の第一放送に当たるようなものが《France Inter》、ニュースの正確さで定評のある海外向け放送局は《RFI》。このほかにも 1 日中ニュースばかり流している《France Info》、文化番組専門の《France Culture》、シャンソン中心の《Nice Radio》等、なんと数百局のラジオ局がプリセットされていて、いずれも本国での放送をリアルタイムで聴取できます。



録音の仕方(Wav、Ogg、MP3での録音が可能ですが)は紙面の都合で省略いたしますが、スピーカーマークのアイコン→《オーディオプロパティの調整》→《オーディオ》→《音量》(録音)→《録音コントロール》で《WAVE 出力ミックス》を選択することが大切です。わからないことがあつたら、Radio_Fr_soloで《?》→《Aide》からフランス語の使用説明書を表示させて、辞書を片手に奮闘してみてください。↑ それでは、Bonne écoute !

インターネットにおける ドイツ語講座

国際コミュニケーション学部

トマス・グロース

文学部

シュテファニー・シュマウス

はじめに

インターネットやコンピュータそしてソフトなどの技術の向上とともに、インターネットの外国語講座も広がってきた。ここでは、幾つかの講座を紹介することより、一番役に立つドイツ語講座の紹介に限りたいと思う。なぜなら、インターネットの外国語講座に様々な条件を当てはめ、ドイツのKLETT出版社の教科書『Passwort Deutsch』に関連している講座を選んだからである。

インターネット講座の条件というと、まず「無料・有料」の違いがあるが、日本人学生向けということで、有料講座をはずすことにした。第2の条件として、できるだけ、現在のドイツ語教育に広く使われて高く評価されている教科書に関連している講座が望ましい。第3の条件として、初級から中級そしてできれば上級までの講座が望ましい。そして第4の条件は、講座の技術で、聞き取り教材・記入問題・動画・自己評価モードが設けられていることである。講座『Passwort Deutsch』には、音声ファイル・フラッシュファイル・ビデオなどがある。更に、面白いウェブサイトへのリンクも望ましい。第5の条件はページのレイアウトや明快な問題設定なども一般的な使いやすさである。メタ言語も取り上げるべきであり、ドイツ語で作られている講座は当然多いが、なかには英語のウェブサイトもある。ドイツ語を選択した学生はたぶん十分に英語ができないので、講座をドイツ語に絞ることにした。

『Passwort Deutsch』の講座

この教科書は愛知大学で使われており、第1巻から第6巻まであり、第1巻は初級教科書である。講座は教科書と同様の構成になっているので、教科書

<ul style="list-style-type: none"> ■ Lektion 1 ■ Lektion 2 ■ Lektion 3 ■ Lektion 4 ■ Lektion 5 ■ Lektion 6 <ul style="list-style-type: none"> ■ Lektion 7 ■ Lektion 8 ■ Lektion 9 ■ Lektion 10 ■ Lektion 11 ■ Lektion 12 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Lektion 13 ■ Lektion 14 ■ Lektion 15 ■ Lektion 16 ■ Lektion 17 ■ Lektion 18 <ul style="list-style-type: none"> ■ Lektion 19 ■ Lektion 20 ■ Lektion 21 ■ Lektion 22 ■ Lektion 23 ■ Lektion 24 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Lektion 25 ■ Lektion 26 ■ Lektion 27 ■ Lektion 28 ■ Lektion 29 ■ Lektion 30 <p>Neu: Aufgabenzettel Hier erhalten Sie individuelle Listen mit Online-Aktivitäten von Ihrem Lehrer.</p>
---	--	--

Hilfen in Europa	08	Wo liegt das Land?
	09	Der Eurocity: Wohin? Wohin?
	10	Aus - in oder nach?
Auf Wiedersehen	11	Herr Müller plant eine Party - Erklärung
	12	Herr Müller plant eine Party - Aufgabe
	13	Die Zahlen von 1-100 Telefonnummern im Internet suchen - Erklärung Telefonnummern im Internet suchen - Aufgabe Postleitzahlen im Internet suchen - Erklärung Postleitzahlen im Internet suchen - Aufgabe Postleitzahlen: Ort oder Wort?

第1課の目次

をもうすでに使っている学生は、講座もすぐ使えるだろう。ただ、第5巻第26課までしか完成していない。メインページから学びたい課を選べる。クリックすれば、選んだ課の目次に飛び、目次の左側には、教科書の見出しが掲載されており、教科書を利用している人は助かる。中間には練習番号が書いてあり、その右に練習のタイトルもある。さらに、右側「www」は、リンク、またはインターネット形態の練習を指している。

例えば、第10練習は、インターネットの列車情報

の収集方法を練習できるものである。第12練習では、インターネットからの電話番号検索を練習できる。ドイツ語学習の域を超えて、これほど社会的かつ文化的な紹介はこの講座だけが提供している。ドイツの町を紹介することもあり、第3課第13練習では、Tübingenの名所が紹介されている。

練習の中には、正しい解答を選ぶ方法が多い。選択したあと、すぐソフトから反応がある。しかし、自ら記入しなければならない問題もある。聞き取り練習もあり、教科書の聞き取り練習と同様である。

Deutsch lernen

Deutsch lernen

Info & Service

Startseite

Lektion 1 2 3 4 5 6

Aktivität 13

Eine virtuelle Stadttour: Tübingen

Die Alte Aula

Das erste Haus der neu gegründeten Universität Tübingen.
Heute sind hier z.B. die Seminare für Orientalistik und für Indologie.

第3課の第13練習

口の形	音声	説明	実際の例
	[a]	口を大きく開くのがポイントです。ドイツ語の[a]は日本語のと比較すると、顎がもっと開いたまままで発音されます。思ったより開いて見てください！	anklagen 告訴する Abfahrt 出発
	[e]↑	この音を作るには、口のすみを開いて上げて、口の形をニコニコするようにするのがポイントです。	Meter メートル Tee お茶

ドイツ語の純粋母音の発音

ドイツ語の発音

発音練習には、「消極」練習と「積極」練習の区別があり、「消極」とは、ドイツ語の正しい発音を聞かせるもので、「積極」とは、ユーザーの発音インプットを評価するものである。積極的発音練習を設ける講座もあるには、技術的に複雑なので、すべて有料講座である。ここで紹介した『PasswortDeutsch』には発音練習はない。

ドイツ語の発音は筆者のホームページでも紹介しており、そこでは、日本人学生にとっての発音の難点を紹介している。それは、ドイツ語の音韻論・メローディ・アクセント・リズム・音節である。音韻論のページには音声ファイルや写真、画像もある。ドイツ語の例をクリックすると、音声ファイルが聞こえ、日本人にとってよく似ている音も比較できる。

ウェブアドレス：

<http://www.passwort-deutsch.de/lernen/index.html>

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/doitsugo/files/aussprache.html>

[a]対[e]			
保障	Gewähr	Gewehr	銃
歌う[接続法]	Sängen	sengen	焦がす
[ö]対[e]			
出来る	können	kennen	知る
解く	lösen	lesen	読む
[ü]対[i]			
南	Süden	sieden	沸かす
戸	Tür	Tier	動物

母音の比較

ネットを利用した英語学習のヒント ーリスニング力アップに役立つ サイトと辞書サイトー

短期大学部

武 藤 明 弘

語学の学習に関して、その言語の（一般にはネイティブスピーカーが使っているとされる）“本物”にじかに触れることは大切である。こうした“本物”を好きなときにリアルタイム、もしくはほぼリアルタイムで見たり聞いたりすることができるというのはネットならではのものであり、それをうまく活用することによって語学力の向上を図ることができる。ここでは、これからネットを使った英語のスキルアップにトライしてみようという人を対象に、特にリスニング力を向上させるのに役立ちそうなサイトをいくつか紹介していく。さらに、同じPCの画面上で簡単に調べることができるということで、ネットで学習する際には特に便利である、オンライン辞書もあわせて紹介していきたい。（なお、URLは現時点のものである。）

1. リスニング力向上のためのお役立ちサイト

音声や映像がおかれているところは数多くあるが、ここでは、学習のために使うという観点から、1) しゃべりのプロであるアナウンサーによる英語が聞ける、2) そこそこ聞きやすい、3) できれば、聞いた内容を文字で確認できるスクリプト（原稿）が得られる、そして、4) 音声や映像データの情報量が多い、というポイントをもとにお勧めできる4つのサイトを挙げる。

VOA

<http://www.voanews.com/english/portal.cfm>
<http://www.voanews.com/specialenglish/>
 (スペシャルイングリッシュ)

アメリカ政府の海外向け放送 Voice of America のサイト。さまざまなジャンルの番組を見たり聞いた

りすることができる。スクリプトも用意されていて、聞き取ったものを文字で確認することができる。「スペシャルイングリッシュ」はその中の英語学習者用のページ。時事的なトピックが素材になっていて、それをもとに（アメリカ）英語を学べるようになっている。音声・画像とスクリプトがセットでおかれていって、しかも学習者用の簡単な英語でゆっくりとしたスピードで聴けるので、利用価値が高い。

BBC

<http://www.bbc.co.uk/>
<http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 (ワールドサービス)
<http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/>
 (ラーニングイングリッシュ)

[bbc.co.uk](http://www.bbc.co.uk) はイギリス国内向けのサイト。読み物だけでなく音声や映像も実に充実しており、テレビ番組では現地時間の 1、6、10 時のニュースや BBC News 24 のヘッドラインなどを見る能够である。また、ラジオの方では、次に触れる World Service を含む合計 11 局の番組を録音あるいはナマで聞くことができる。（ちなみに、スコットランドやウェールズなどの地方局の番組を聞くこともできる。）

一方、「ワールドサービス」は BBC の海外向け番組のサイト（日本の衛星放送やケーブルテレビで見られるのはこここの番組）。記事を読んだり、番組をナマで聞いたりすることができる。さらに、「ラーニングイングリッシュ」はワールドサービスの英語学習者向けページ。時事的なネタをもとに英語を学べるようになっていて、ニュースの音声・スクリプト・使用されている語彙の解説がセットになったものが定期的にアップロードされている。

CNN.com

<http://www.cnn.com/>
 アメリカを代表するケーブルテレビのサイト。一時（無料版は）文字情報ばかりになってしまっていたが、また映像を見たりなどできるようになってきた。VOA や BBC のように映像とセットでおいてあるわけではないのが英語学習に使うという点からすると残念ではあるが、番組のスクリプトは <http://transcripts.cnn.com/TRANSCRIPTS/> で入手できる。

ラジオ日本オンライン

http://www.nhk.or.jp/rj/index_e.html

NHK の海外向け放送のサイト。英語をはじめ22の言語でニュースを聞くことができる。スクリプトはないが、特に日本人アナウンサーによる国内のトピックは分かりやすいので、「まずはために」と聞いてみるのよいと思う。

2. 辞書のサイト

ここでは、1) 定評がある辞書である、2) 簡単に使える、3) あくまで使用料はタダである、という点をポイントにいくつか挙げていく。

英辞郎 on the Web

<http://www.alc.co.jp/>

アルクのサイト「SPACE ALC（スペースアルク）」で公開されている、プロの翻訳者・通訳者集団EDP（Electronic Dictionary Project）によるオンライン英和・和英・略語データベース。作成者によると、現在使われているデータは100万語に達しており、データはほぼ2～3ヶ月ごとに更新作業が行われている。

RNN時事英語辞典

<http://www.rnnnews.jp/>

時事系表現を調べるときに。収録語数は現時点で約1万2千語だが、かなりの頻度で更新されているので、新しいトピックに関することにも結構対応している。

このほか、例えば以下のようなサイトで、市販されている辞書のオンライン版が無料で利用できる。

excite

<http://www.excite.co.jp/dictionary/>

DION

<http://dion.excite.co.jp/dictionary/>

研究社の『新英和中辞典 第6版（17万3千語）』、『新和英中辞典 第4版（13万5千語）』などが使える。

asahi.com

<http://www.asahi.com/>

goo

<http://dictionary.goo.ne.jp/>

Infoseek

http://jiten.www.infoseek.co.jp/Jiten?sv=DC&pg=jiten_top.html

MSN

<http://dictionary.msn.co.jp/result.aspx>

So-net

<http://so-net.dictionary.goo.ne.jp/index.html?kind=ej&mode=0>

三省堂の『EXCEED 英和辞典（約12万語）』、『EXCEED 和英辞典（約9万4千語）』などが使える。

@nifty

<http://www.nifty.com/dictionary/>

Biglobe attayo

<http://search.biglobe.ne.jp/dic/>

三省堂『デイリーコンサイス英和辞典（7万7千語）』、『デイリーコンサイス和英辞典（7万語）』などが使える。

livedoor

<http://dic.livedoor.com/>

Yahoo! Japan

<http://dic.yahoo.co.jp/>

小学館『プログレッシブ英和中辞典第4版（11万5千語）』、『プログレッシブ和英中辞典第3版（7万2千語）』などが使える。

最後に、有名な英英辞典を発行している出版社のオンライン辞書を2つ。

Longman Dictionary of Contemporary English
ONLINE

<http://www.longmanwebdict.com/>

Merriam-Webster Online

<http://www.m-w.com/>

シソーラス機能も利用できる。

インターネットを使った TOEIC独習講座：

Challenge for the TOEIC Test

短期大学部

川 端 朋 広

最近では、インターネット上で学習することができる、いわゆる e-learning 的なものもかなり増えてきているが、そのようなプログラムの中でも今回は特に学生の関心が高いと思われる TOEIC 対策のプログラムを紹介したいと思う。名前は表題にあるとおり、Challenge for the TOEIC Test である。

このプログラムは、日本で TOEIC の本試験を運営している組織であるイー・コミュニケーションズによって運営されているものである。学習方法は、インターネット回線を通じてプログラムのあるウェブページにアクセスし、パソコンのブラウザ（インターネット・エクスプローラー等）を使用して学習する、というものである。要求される

パソコンのスペックについては、HP 上の説明を参照していただきたいが、ここ2~3年の間に購入したパソコンで、Windows Media Player を用いて音声の再生ができるものであれば、まず大きな問題はないだろうと思われる。当然のことながら、インターネット接続は必須である。（ブロードバンドでの接続が望ましい。）

全体は大きくわけると以下のようないくつかの構成になっている。この3つのプロセスを順番に繰り返すことで、力の伸び具合を確認しながらの学習が可能である。

①実力判定テスト：

現在の実力判定をする簡易テスト。個人向けメニューの作成データともなる。

②トレーニングコース：

リスニング、リーディングの各セクションに対応したトレーニングコース。上記の実力判定テスト結果に基づいた個人別推奨コースもある。

③模擬テスト：

本試験と同じ形式で、200問の問題を解く。スコアが出るだけではなく、個人別のアドバイスも表示される。

模擬テストを除いては、ひとつひとつのセクションが20~30分で終えられるように作成されており、自宅での学習だけでなく、授業の空き時間にメディアセンターの端末で学習したり、ノートパソコンを持ってきてのキャンパス内無線LANエリアで学習することもできるだろう。とくに、最初のステップである実力判定テストは、短いながらもはっきりとしたスコアの形で結果が出てくるので、学習を始めるにあたっての大きな動機付けになると思われる。

②のトレーニング・コースの中でもっとも目を引くのは、以下のリスニング・セクションであろうと思われる。



音声は、標準スピードと、少しゆっくり再生されるものとが両方聞けるようになっている。いずれもクリックするだけで好きなだけ繰り返して再生することが可能である。音声面でのトレーニングにおいては、音声認識機能も備えている。

では、このように間断なく必要なものを再生できるというのは、大きなメリットである。CD付きの教材等で同様に音声素材を提供するものもあるが、ここまで操作性を実現しているものは多くはない。

トレーニング・コースには、このほかにリーディング・セクションも用意されているが、こちらは音読、黙読などを連続的に配置して、最終的に Exercise に至るという形がとられている。(ただし、音読をする部分は、まわりに人がいる状況では行いにくいものであるし、TOEIC の本試験でも実際に発声する場面はないのであるから、こうした部分はある程度個人で省略してもよいのではないかと思う。

③の模擬テストは、それなりに時間もかかるものであるが、実際の試験を受けるのとほぼ同じレベルの実力判定が可能であることを考えると、会場に出向く必要がないところは大きな利点である。詳細なアドバイスも出てくるので、その後の継続学習に参考になるだろう。ただし、一定時間、PCの前にい

て作業を続けられる体制をしっかりと確保してから臨むことが重要である。(電話をオフにしたり、家族にも模擬テストを受ける旨を伝えておいたり、等。)

以上、プログラムの概要を、とくにリスニングセクションを中心に解説した。興味をもった方は、ぜひ以下のページへアクセスし、情報をチェックしていただきたい。

<http://www.challenge-wbt.jp/c2/pr/toeic/index.html>

(紹介)

<http://www.challenge-wbt.jp/c2/pr/toeic/faq.html>

(FAQ)

以上

コンピュータで英語を学ぼう！

このたび、英語 e-Learning 教材 “ALC Net Academy” を導入しました。積極的に利用して語学力アップを目指しましょう。

- 使用できるパソコンは学内に設置の教育用のものです。名古屋校舎・車道校舎からも利用できます。(学外からは利用不可。)
- 次の2コースがあります。
 - (1) スタンダードコース
5段階のステップ学習で、全100ユニットのリーディング、リスニングを多角的に学習します。また TOEIC® テストに準拠した10ユニットの模試で実践力をつけます。
 - (2) 初級・中級者のための TOEIC® テストスコアアップコース
スタンダードコースよりも難易度が低めのコース。英語学習の初級・中級者を対象にした日常的、実践的なトピックスで TOEIC® テストスコアアップを目指します。
- 受講するには利用申請が必要です。
申し込み先：LL自習室（3号館1階）
ログインに必要なアカウントとパスワードを発行します。
※ 料金は必要ありません。

インターネットから 学ぶ中国語

オープンカレッジ講師

中 西 千 香

ネットサーフィン卒業！

中国語を勉強しているあなた、中国語をインターネット上でみたことがありますか？ネットサーフィンなら、したことがあるでしょうか。今回はネットサーフィンを卒業して、中国語入力をマスターして、そこからどんな中国語学習の世界が広がるか考えてみたいと思います。ここから新しい学習方法が見えてくるかもしれませんよ。

入力マスター＝ピンインマスター

パソコンで中国語入力をする場合、ピンイン（発音のアルファベット表記）で入力します。ピンインは日本語で言う、ローマ字です。電子辞書でもピンイン検索していると思いますが、同じ要領です。例えば、中国語で「爱知大学丰桥（愛知大学豊橋）」と入力する場合、[ai zhi da xue feng qiao]と入力し、変換します。

ピンインを一つでも間違えると変換したい中国語はできません。中国語入力にはピンインマスターが不可欠です。本学のPCは中国語入力ができますので、早速練習してみて下さい。

ポータルサイト、検索サイトを活用する

サイトをのぞくだけでも、確かに語彙は増えるし、面白い記事にも出会えます。これに加えて、中国語入力をマスターすれば、中国のサイトから最新情報やより詳しい情報を入手できます。中国事情で気になることがあれば、キーワードを入力して、検索するのです。おすすめのサイトは

百度 (<http://www.baidu.com/>)

Google (<http://www.google.com/intl/zh-CN/>)

MSN (<http://www.msn.com.cn/Default.asp>)

です。

より深い中国理解をする為に、また、卒論等で中国、中国語を取り扱うならば、知っておくべきでしょう。中国関連企業に就職するあなたも、入力から検索方法までを知っていて損はありません。

中国語でメール、チャットの楽しみ

入力が慣れてきたら、今度はメール（伊妹儿

yīmèir）、チャット（聊天儿 liáotiānr）です。

メールは、海を隔てた中国人の友達とタイムラグが少なくやりとりができます。今では、メールは普通のことですが、以前は手紙や電話という時間かお金がかかる手段しかなかったのです。本当に大進歩です。また、チャットや音声チャットはリアルタイムのやりとりで、非常に便利になりました。しかし、チャットをスムーズにするには、入力の速度、語彙、的確に伝える文法能力、表現能力等が必要です。少しずつ語学力を高めなければなりません。まずは短いメールや掲示板への書き込みから始めてはいかがでしょう。

活用する前に…注意すべきこと

これだけ知っていれば、中国語学習の幅が広がること間違いないですが、その前に注意してほしいことがあります。それは、情報の取り方です。様々な情報がインターネット上にあふれ、全部が本当かは怪しいです。簡単なことを調べる時にネットは便利ですが、卒論・レポート等ではネットの裏づけだけで満足してはいけません。これは日本語でも同じです。情報活用能力の向上は今のネット社会に生きる者へ求められていることです。

インターネット活用学習法

では、最後に学習活用法を考えてみましょう。例えば、ニュース記事なら、その話題に関する語彙や新聞記事独特の表現がでてきます。それらを書き留めたり、ワード等に貼り付けて、まとめてもいいでしょう。また、チャットはリアルタイムで会話を入力しますが、同時に自分の表現を見直す暇はありません。私の場合は、チャット終了後にワードに貼り付けて、保存して見直しています。自分の中国語を反省するのも大事ですが、それより見てほしいのは、ネイティブの生きた表現です。例えば、日本人同士のチャットで、「じゃ、おちるね」と言うのを中国語では「我要下了 Wǒ yào xià le」と言います。細かい表現から通常の表現までをネイティブから盗むのです。どんどん使いこなして、楽しい中国語学習ライフを！



【↑おすすめの「百度Baidu」】

漢語大食堂へようこそ

非常勤講師

齊 藤 正 高

語学は食事に似ている。どちらも口を使うし、頭と胃袋のちがいはあるが、まずつめこむことが必要だ。世間には単語帳を食べた人の伝説が残っているし、友人と食事をしながら言葉を教える方法もある。両者の大きなちがいは、語学では絶対に太らないことだ。

LV4を変換すると、「縁」を入力することができる。こんなピンイン入力の基本事項をおぼえれば、インターネットに広がる中国語の大食堂に入ることができる。そこにはおいしい料理も、血肉となる主食も、栄養の偏りを補うサプリメントもある。

● 佳肴（ごちそう）

「この文字はあれのことか」、漢字を用いる中国語と日本語の間では、こんな経験はよくおこる。発音するにはピンインを調べねばならないが、とにかく分かるというのは学習のモチベーションを保つのによい。ウェブには大企業のサイトがたくさんあり、その中国語サイトをみれば面白い発見をすることができる。

1) ファーストフード

麦当勞 <http://www.mcdonalds.com.cn> のサイトでは、おなじみのメニューの中国語表記が分かる。CMも配信されており、BMI の計算もできる。美仕唐納滋（ミスター・ドーナツ）や、天津狗不理のサイトにも同様にメニューが公開されている。

2) ショッピングセンター

華堂商場 <http://www.ht-store.com> は北京に展開しているイトーヨーカ堂出資の合弁企業である。“促销信息”をみると、衣料品から電化製品までさまざまな物の名前が分かる。少し調べれば、次のような単語を見つけることができる。（鮭魚籽／速溶湯／帆布鞋／旱冰鞋／碱性电池／节能灯）

● 主食

語学の主食は教科書である。教科書の事項を身につけるには、クラスに出席するのが一番よい。そのうえで、以下のコンテンツを利用してみたらどうだろう。

3) TUFS言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/modules>

東京外国語大学が提供している外国语教材、発音篇では113ページの教材があり、会話篇では40課のスクリプトが音声付きの動画で提供されている。同様の試みは関西大学の「おんらいんちゃいな」にもある。

4) NHK Radio Japanオンライン

<http://www.nhk.or.jp/rj/>

毎日のニュースを22種類の言語で放送しているインターネットラジオのサイトである。中国語の放送もあり、スクリプトも準備されているから、聞き取りによい。同様のインターネットラジオとして、中国国际放送局もインターネットラジオなど放送している。また、VOAのサイトにも中国人のための英語学習コンテンツが豊富にあり、英語と中国語を一度に学習したい欲張りな人には役立つ。

● 栄養素補充剤（サプリメント）

教科書や消費生活の用語のほかにも、多くの中国語にふれると、それだけいろいろな栄養を補充することができる。語学学習の栄養補充は、辞書を引くことであり、文学作品にふれることだろう。

5) 辞書

- ・Excite中日辞典 <http://www.excite.co.jp>
- ・百度中英辞典 <http://dict.baidu.com>
- ・國語辭典 <http://140.111.34.46/dict>

6) 文学テキストの書庫

- ・亦凡公益図書館 <http://www.shuku.net>
- ・新語綴 <http://www.xys.org/>

最後に語学には人を相手にした出力の練習が不可欠であり、また再話・要約・敷衍など言語技術の訓練も重要である。インターネットには紹介できなかったコンテンツも多いが、現時点では語学の全てを学習できるわけではないことも理解しなければならないだろう。

おまけ：中国語単語ドリル（著作作成）

http://taweb.aichi-u.ac.jp/saitom/chuugo_kugo/hanyu/ceyan.html

インターネットで ロシア検索

経済学部
清水伸子

ロシア語は、英語で用いているアルファベットとは異なるキリル文字という文字を使います。したがって、インターネットでロシアの検索エンジンを用いる場合には、パソコンでキリル文字を入力できるようにしておかなければなりません。

キリル文字は、実はパソコンで入力できるのですが、設定上キリル文字の解凍をしてやらなければなりません。このキリル文字の解凍の仕方は、後で説明しますが、キリル文字でなければインターネットでロシアのことについて検索できないというわけではありません。

昨今は、専用ソフトを使えば誰でも気軽にホームページ(HP)を作ることができますので、ロシアの様々なことに興味を持っている人が、自分でHPを公開しています。自分のロシア旅行記を写真入りで公開している人や、ロシア文学やロシア音楽についてのHPを公開している人もおり、日本語でキーワード検索をしてみると面白いHPに行き当たることもしばしばです。

ここでいくつかロシア関連のサイトやHPを紹介しておきましょう。

1. ロシアンびろしき

(<http://www.rosianotomo.com>)

このサイトは、現在日本からロシアに留学している学生が運営しているサイトです。このサイトでは、ロシアのCDやマトリョーシカ(開けると中から次々と出てくる人形)なども販売していますが、このサイトの良いところは、ロシアで悪戦苦闘する日本人留学生達が直接リポートするロシア滞在記の充実ぶりです。嘘のような話、フィクションではないかと疑いたくなるような話が満載で、留学生達の受けたカルチャーショックを追体験できます。概して「こんなひどい目にあった」「こんな信じられないこと

が起こった」といった類の話が多いのですが、もちろんみんな「ロシアとはこんなにひどいところだ」という宣伝をするために体験記を書いているわけではありません。サイト内のメニューの記事を読んでいると、ロシアに対する深い愛情をもった人たちの「いろいろあるけど、やっぱりロシアってありきたりじゃなくて、すごいんだよ」という思いが伝わってきます(注)。

その他に、ロシア留学体験談が読めるHPとしては、「モスクワ留学日記」(<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Desert/1202/>)なども実際のロシアでの生活が分かって面白いHPです。

2. 北海道大学スラブ研究センター

(スラブ研究リンク集)

(<http://slav-db.slav.hokudai.ac.jp/fmi/xsl/link.xls>)

例えば、ロシア語版Windowsに関する情報であったり、ロシアの歴史や政治経済、あるいは旧東ヨーロッパやシベリアや中央ユーラシアの国々に関する情報がほしい場合には、北海道大学スラブ研究センターのリンク集を利用すると良いでしょう。このリンク集は大変充実しており、調べ物をする際の強力な助っ人となります。地域別と分野別(一般、新聞・ジャーナル、文化、研究・交流機関、民族・歴史、など)に細かく分かれており検索しやすく、専門機関のHPなどはほぼモーラされています。レポートなどで調べ物をする際には、利用すると良いかもしれません。

北海道大学スラブ研究所以外で、ロシア関連のリンクが充実していると思われるは、日本でロシア書の販売をしている「日ソ」のHPです(<http://www.nisso.net/>)。それぞれのHPの紹介なども日本語で添えられており、使いやすいリンク集です。

以上は、日本語で検索できるサイトやHPを含んだリンクを紹介しましたが、ロシアのPOPミュージックのアーティストはヨーロッパ進出もしていましたので、最近のロシア人アーティスト関連の情報ならば英語でヨーロッパの検索エンジンを使ってみてもよいかもしれません。

また、ロシアのことを知りたいなら、まずロシア人の友達を作ろう!ということで、ロシア人のメル友をインターネットで探してみるのも良いかもしれません。まずは、日本語を勉強したいロシア人のメル友を探してみてはどうでしょう?

(http://www.mylanguageexchange.com/default_jpn.asp)

<パソコンでキリル文字を入力するために>

さて、これからどうやったらパソコンでキリル文字を入力できるようになるかを説明しましょう。

愛知大学のパソコンでは、すでにキリル文字が入力できるようになっており、日本語とロシア語の切り替えは、パソコン画面右下にあるMicrosoft IMEのアイコン（目の丸に筆の図）をクリックしてロシア語を選択すればキリル文字を入力できるようになっています。

しかし、みなさんが個人で購入したパソコンでキリル文字を入力するためには、初めに書きましたように、まずキリル文字を解凍してやる必要があります。先のページで紹介したサイトやリンク集内で探していくば、解凍の仕方を説明しているHPに行き当りますが、ここで簡単にWindows2000、XPでのやり方を説明しておきます（手持ちのパソコンがWindows95、98である場合や、マッキントッシュである場合には、北海道大学ラブ研究センターリンク集のパソコン関係のリンク集で調べてみてください）。

手持ちのパソコンで、キリル文字を入力できるようになるためには、キリル文字を解凍する作業（第1段階）と、キーボードのレイアウトにロシア語の文字（キリル文字）を追加する作業（第2段階）をする必要があります。

Windows2000、XPの場合

第1段階：

【マイコンピューター】→【コントロール・パネル】→【地域のオプション】→【システムの言語設定】→【キリル言語】あるいは【ロシア語】を選び【OK】（必要ならば再起動させる）

第2段階：

【マイコンピューター】→【コントロール・パネル】→【キーボード】→「入力ロケール」で【ロシア語】を選ぶ→「キーボード レイアウト／入力システム」で【ロシア語】を選ぶ→【OK】

（画面右下Microsoft IME のアイコンをクリックしてロシア語を選べばロシア語が入力できます。）

さあ、これで自宅のパソコンでもキリル文字が入力できるようになりました。しかし、実はもう一つ問題があります。それは、キーボード上でのキリル文字キーの配列です。このページに配列表を載せておきますが、見てもらえば分かるように、例えば、Aのキーはキリル文字のウに対応、Fがаに対応といった具合に、ラテン文字の配列とは全く異なります。どのキーを押せば、必要な文字が出てくるのか分からないと、いろいろしてくるものです。覚えるに越したことはないのですが、キーボードにキリル文字のシールを貼るとか、埃よけのゴム製のキーボードカバーにキリル文字の配列を書いて使用するというのも一つの手です。また、画面は小さくなりますが、画面上にキーボードの配列表を表示して、マウスでクリックしながらキリル文字を入力していく方法もあるようです。

ロシアの検索エンジン

Rambler : <http://www.rambler.ru/>

Яндекс : <http://www.yandex.ru/>

Апорт : <http://www.aport.ru/>

（注）：ロシアンびろしきのリンク集の「レポートに困った時のリンク集」の中に、ウイルスに感染しているHPがあるようです。これに限らず、ネット検索をする人は日頃からウイルス対策ソフトの更新を忘れないうちにしましょう。

キリル文字キー配置表

Q	Й	W	И	E	У	R	К	T	Е	Y	Н	U	Г	I	Ш	О	Щ	Р	З	Х	б
A	Ф	S	ы	D	В	F	А	G	П	Н	Р	J	О	К	Л	Д	Ж	Э			
Z	Я	X	Ч	С	С	V	М	В	И	N	Т	М	ь	<	Б	>	Ю				

インターネットという辞書 —日本語学習にネットを使う—

非常勤講師

山田 克利

世界に身を置く

誰でも世界の中にいるのだが、そのときそれぞれの頭の中にはどんな風が吹いているのだろうか。日本に来た留学生であれば、身体はもちろん日本の中にあり日本の空気を吸っている。しかし、一日の中でもずいぶん長い時間を心が日本や日本語の外の世界に出て動いていることもあるだろう。同郷の友人がいれば、母国語でおしゃべりもずいぶんするし、図書館にもし自習室にも、なつかしい香りを漂わせるビデオ化された映画作品がたくさんある。そうしたものは、外国である日本が十分には満たしてくれない気持ちの物足りなさをいくらか補ってくれるし、その雰囲気に浸ることで自分を保っているという実感が持てる。そういう中でも今ではとりわけインターネットだ。電話やメールやテレビの番組や、故国から届くものはいろいろある。手紙は古典的な感じがするようになったが、遠くから届いたものという思いは深い。しかし、故国との接触はなんと言っても、インターネットだ。インターネットは、故国から届くのではなくて、故国がそこにあり、リアルタイムで故国のことを知るというよりも、自分の国のインターネットに入れば、自分が故国の中にいるということがそこに作り出される。それは留学しているということの意義を否定しているのではないかと言われるかもしれない。きっと本当にそうだ。しかし、それでこそ自分をよく保つことができる。

出発のための土台

自分を保つことができれば、育てることも考えなければならない。ただ保ち守っているとしたら、それは自分を古い自分の中に閉じ込めていることにな

る。日本に留学することは、身体が故国之外に出るだけでなく、精神が自分の外に出て何かをつかみ自分のものにしていくということでもあったはずだ。そのなかで大きく自分を保ち自分を作っていく。留学の目的から言えば、そこでいかに日本語力を養うかは、決定的に重要だ。しかし、そうは言つても日本語の勉強自体も自分の目的の範囲の中にあると考えるかどうかは、むづかしい問題だ。日本語はただの手段と考えれば、すっきり割り切れるが、そうすることで大切なものを失うかもしれないと思う。自分の精神の中に外国語や異文化という異物が入り込むことに、危険な恐れと自分の新たな貴重な可能性とを同時に感じる。わからないまま切り捨てるのはやめて保留しておこう。大きく自分を保つこととこの保留を自覚的に行えば、それで出発するための土台はできたと言える。

日本の中の日本

日本語を効果的に深く身につけようすれば、日本語に対する感性を豊かに作ることが大いに必要だ。そのためのもっとも直接的な方法は、生きた日本人と日本語の環境の中で交流することだ。生きた人間の感化力は計り知れない。人が言語に対する力を養う根本的なプロセスだし、第2言語としてどんな外国語を勉強する場合でもやはりその基礎的な条件の一つだ。しかし、日本に留学していくながら、教室で先生の日本語を聞くことを除くと、そういう機会は実に少ない。日本の多くの人々は、学生も世の中のひとたちも、他人との精神的な接觸面をうまく作ることのできることが少ないようだ。留学生のほうにもいろいろ事情があって、リラックスした雰囲気で日本人と日常的な交流のできる状況を用意することが難しい。

そこで日本の中にいて、自分にとっての日本を探すことになる。日本語ができるだけ高い密度で動く自分の場所。日本語の本、雑誌、新聞、マンガ。音や絵が動けばもっといい面もあるから、そういう意味では、ラジオ、テレビ、映画も。しかし、もっとも高い効果が期待できるのは、やはりインターネットだろう。それは、日本で接続するインターネット

の中に、故国に住む世界があるのに似ている。インターネットがほかのメディアと違う点は、こちらも参加することだ。自分の精神が日本語環境の中で行動する。外国語は、それを使って行動することで、意識しない間に感性も動き、また新たに感覚も生じ、全身がなじむということが大きくある。インターネットで、自国人を生きることも、外国語を行動することも、それぞれその意味を自覚し、自分の方法をつかむプロセスとしてやらなければ、一度しかない人生の生き方としてもったいないだろう。

巨大な辞書、自分の辞書

インターネットは、知的な面から見れば、それ自体が巨大な辞書だ。どんなホームページにも「検索」して入っていく。「検索」の結果は、絵だったり大量の文字だったりで、普通の辞書のように、「解答」としての語義が与えられるわけではない。しかし、検索と結果を動く知力がつないでこそ辞書が辞書としての機能を持つことができる。外国語を勉強するなら辞書を引けたいがいの先生が言う。反面、外国語の力をつけるには辞書を引いてはだめだというのも重要な真理だ。一つの言葉ともう一つの言葉をつないでいる論理はどうつながっているのかを自分の知力を鍛えながら想像して行くこと。その知的な想像は、母語としてその言語を使う人が、ある言葉や表現に特定の意味を持たせるために、無意識的であるかもしれないが、言葉を使う決まりとして内面的に合理化するものにまで伸びてゆく。そういう精神の働きを訓練し、その訓練を楽しむ気持ちを持つことができれば、インターネットは巨大な辞書として人間世界のこととは信じられないような力で、想像の果てまで人の心を連れて行ってくれる。

インターネットのすぐそばには、恐ろしい容量をもった記憶力が備わっている。コンピュータは、その力だけをとっても、昔の人間が夢にも想像にも思うことのできなかった怪物で、神というに近いだろう。その力を自由にできる現代の人間は、何に使ってよいのか自分を失う迷路に入り込んでしまっても無理もないよう見えるが、今、そのよい使い道として見えるものは、まず自分の辞書を作ることだ。

巨大な辞書であるインターネットに自分の力を加えながら再編集をして、自分のためだけの辞書を作るのは、その意志があれば特別な能力がなくても可能なことだ。この辞書には、自分の文書や作品を盛り込んで行くのも容易なことで、第一の自分の辞書である脳の知的な活動を支えるきわめて有力な自分の第二の辞書となるだろう。

ネット上の既成の辞書、ヴァーチャル日本語教室

ネット上には、既成の辞書が無料で提供されているものもある。たとえば、「検索デスク」(<http://www.searchdesk.com/>)には、国語辞典（「大辞泉」）を始め、英和、和英のほか大量の辞典そのほかが、すぐ検索できる状態に集められている。読者も解説に参加させながら進行し発展を続ける百科事典「ウィキペディア・日本語版」もフリーで利用が可能だ。

日本語学習教室がネット上に開設されているものとしては、たとえば中国の「貫通日本語」http://www.kantsuu.com/about/index_jp.htmlがあるが、これは有料だ。「にほんご」はフリーで、自分の必要に応じた場面や、会話の速度の調節も自由にできる。自分の目的と状況をはっきりつかみながらネットの世界に入っていけば、日本語の習得のためにも大きな力になることは疑いない。

発音を、漢字の読みを

日本語でネットに参加するには、検索するにも、自分の辞書を作るにも、（自分で文書を作るのももちろん）、日本語入力が必要だ。それには漢字が日本語で読めなければならないが、その検索は原始的な方法以外に手段がない。日本語学習が初步を過ぎたら、集中的に第一の辞書・脳の中に漢字の読み方を蓄積させよう。意義と目的をつかんだらそのための合理的方法を考えるのが学問の基本。漢字の読み方を豊富に知り覚えれば、日本語を聞いてその意味を理解する力が飛躍的に伸びるためのよい基礎となることは、少し考えればわかることだ。

インターネットでコリアン

国際コミュニケーション研究科

星合亘子

韓流ブームのおかげで韓国・朝鮮語学習者の数も増え、最近ではテキストにも困らなくなりました。ウェブ上でも便利なサイトが次から次へと出てきていますので、毎日の学習に役立ててください。

1. 初級

ハングル文字と基本の文法を覚えてしまえば、あつという間に中級レベルまでいけるのが日本人の韓国語学習の強みです。まずは基礎をしっかりマスターしましょう。

- ・「KBS WORLD Radio韓国語講座」
(http://rki.kbs.co.kr/learn_korean/lessons/j_index.htm)

KBS WORLD Radioの韓国語講座です。まず、ハングル文字と文法の基本がシンプルに分かりやすく解説されています。発音がローマ字表記のため少し読みにくいのは難点ですが、画面もきれいで使いやすいサイトです。会話のダイアログはもちろん音声や音声が付いているので、リスニング練習ができます。このサイトのすごいところは、日本語だけでなく英仏独など計9ヶ国語の言語で韓国語が学べること。韓国語学習以外にも利用できるかもしれません。

- ・「朝鮮韓国語の森」
(<http://paranse.cool.ne.jp/>)

韓国朝鮮語の学習者を支援するために、同志社大学「油谷研究室」に設置されていたコーナーを独立させたサイトです。油谷幸利先生が製作された韓国朝鮮語学習支援ソフトで初級レベルから学習できる

ほか、大学入試センター試験の韓国語問題などもダウンロードできます。

- ・「漢字で覚える韓国語」

(<http://www.geocities.jp/kanjidekorean/>)

ホームページ上にはパッチムや連音、濃音、激音などの説明がありますが、ぜひ利用したいのはメールマガジンです。韓国語の漢字読みだけでなく、英語などの外来語も紹介してくれます。韓国語の漢字語の発音は、その規則さえ理解してしまえば漢字に慣れ親しんだ日本人には簡単ですが、外来語の発音はカタカナ語とはかなり違うため少々覚えにくく、会話をする際には少し注意が必要です。メールマガジンを読んでさらにボキャブラリーを増やしていくましょう。

- ・「NAVER.com 日韓・韓日辞典」

(<http://jpdic.naver.com/>)

韓国国内で人気の検索サイト、NAVER内の日韓・韓日辞典です。韓国語の百科事典など各種辞典があるので便利です。NAVERの知識検索で得られる情報はかなりのものです。辞書に載っていないことなど、分からぬことがあればぜひ一度NAVERに聞いてみてください。

2. 中級

ハングル文字がすらすら読めるようになり、基本的な文法をマスターしたら、あとはどんどん読んで、書いて、しゃべりまくるだけでしょう。

- ・「K-PLAZA.com 韓国語を学ぼう！オンライン韓国語講座」

(<http://www.k-plaza.com/main/korean.html>)

K-PLAZA.com内の韓国語講座です。基礎的な解説はもちろん単語集もあります。また、“今日の一言”では日常会話で使えるちょっと高度な表現が紹介されていて、韓国人相手に早く使ってみたくなってします。メールマガジンもあります。

・「韓国語学習サークル 唐辛子」
[\(http://homepage2.nifty.com/cheong-kegori/\)](http://homepage2.nifty.com/cheong-kegori/)
 東北大大学院生の方が主催するサークルです。ハングルさえ読めれば誰でも参加でき、HPとチャットで学習が進められています。初級と中級に分かれているので、自分にあったレベルで仲間と一緒に勉強できます。

・「ジュニア・ネイヴァ 童話旅行」
[\(http://jr.naver.com/donghwa/\)](http://jr.naver.com/donghwa/)
 NAVER.com内の子供向けページです。韓国の童話のほか、イソップなど海外の童話も紹介。朗読・字幕も付いていて、ウェブで絵本を読んでもらっているような感じです。韓国語の美しいリズムが体験できます。

3. 上級

ハングルが難なく読めるようになると、インターネットももっと楽しくなります。しかし、レベルアップを続けていくためには、ニュースなどの固めの文章を読むことも必要です。

- ・「朝鮮日報」 (<http://www.chosun.com/>)
- ・「東亜日報」 (<http://www.donga.com/>)
- ・「中央日報」 (<http://japanese.joins.com/>)

韓国的主要紙には日本語対訳がついているので、ぜひ活用してください。

・「KBSニュース」 (<http://news.kbs.co.kr/>)
 テレビで放映されたニュースが動映像で見られます。KBSだけでなく他局のサイトもぜひ覗いてみてください。ニュースやドラマだけでなく、面白いプログラムが見つかるかもしれません。

- ・「Go Korea」 (http://www.gokorea.jp/korea_web/)
- ・「K-plaza」 (<http://www.k-plaza.com/>)
- ・「KJ CLUB」 (<http://www.kjclub.com/jp/>)

これらのサイトでは日本や日本語に興味のある韓

国人のメル友が探せます。友人を作ってメールやチャットで韓国語を試してみてください。

・「中央日報 北韓ネット」
[\(http://nk.joins.com/asp/nk_dic/nk_dic_list.asp?cont=107\)](http://nk.joins.com/asp/nk_dic/nk_dic_list.asp?cont=107)
 韓国語ができるようになれば、北朝鮮の言葉や方言にも興味が出てきます。このサイトには北朝鮮用語辞典のほか、ニュースやコラムなど北朝鮮情報が紹介されています。

韓国語でインターネットを使うには、もちろんハングルで入力しなければいけません。韓国に旅行する機会があれば、大型書店などでぜひハングルのキーボードステッカーを手に入れてください。数百円ほどで手に入れます。今回いくつかのサイトを紹介しましたが、これだけ見てもインターネット以前の学習者と比べると、現在のわたしたちがとても恵まれていることが分かります。自分に合うサイトを探し、毎日続けて韓国語に触れてみてください。



教養とは何か、教養の語学とは――平和への道――

経済学部 葛 谷 登

米国第三十五代大統領ケネディは1963年6月10日、アメリカン大学の卒業式に列席し、「平和の戦略」

(The Strategy of Peace) という歴史に名高い演説を行いました。亡くなるわずか五ヵ月前のことです。その冒頭に英国の桂冠詩人メースフィールドの詩の一節を掲げました。"There are few earthly things more beautiful than a university."

これは「この地上で美しいと言えるものは大学である、そして大学より美しいものは稀有である」というような意味でしょうか。何故、大学が美しいでしょうか。それは同じくメースフィールドの言葉を借りれば、大学が、‘a place where those who hate ignorance may strive to know, where those who perceive truth may strive to make others see’（知らないことを厭う人たちが知ることを求めて努力する場、真理を認識する人たちが真理を他者に知らせようと努力する場）であるからなのです。

ヨーロッパの大学は中世期にイスラム世界と交渉を通して出来ました。現在のヨーロッパの大学はイスラム世界の学校制度をヨーロッパの地に移植し土着化させたものです。ヨーロッパでは大学というと三つの学部から構成されていました。神学部、法学部、医学部です。神学ではフランスのパリ大学、法学ではイタリアのボローニャ大学、医学では南仏のサレルノ大学が有名でした。ヨーロッパの大学はイスラム世界の神学、法学、医学の知的財産を受け継いだのです。神学ではイブン・シーナー、イブン・ルシュドの神学著作、法学ではイスラム法の体系、医学では先進的な病院制度等の枚挙にいとまないほどの多くの正の財産を取り入れたのです。

そしてヨーロッパの大学は歴史学者の羽仁五郎の言葉を借りれば、教員と学生の二者で構成される組合として発足しました。権力からの干渉を排除し自由な学問研究をするために教員と学生が結成した自治組合です。各大学は言うなれば一国一城の独立した組合組織であって、それを統轄管理する上部機関には従属していません。その教員と学生で構成される自治組合のうち、相対的に学生の力が強かったのがボローニャ大学、教員の力が強かったのがパリ大学でした。

このようにしてヨーロッパの大学は始まりました。神学、法学、医学は飽くまで学部の専門課程で学ぶことになりました。この神学、法学、医学を専門的に学ぶためには基礎学力の養成が緊要でした。その基礎学力の養成のために、古代ギリシアで自由市民に必要とされた学問である自由七科（文法、修辞、弁証、算術、幾何、天文、音楽の七科目）が用いられました。この自由七科が大学の教養科目の原型です。

しかしこの大学における自由学芸の伝統は現代に入り物質主義が蔓延する過程で害われてしまいました。大学進学率が上昇し、学位というものの価値がなくなってしまいました。学生にとって必要なものは、就職して会社に入ってから困ることのないための実用的、技術的な知識であって、就職に直接関係のない科目は次第に学習課程から消えて行く趨勢になりました。

そうした趨勢にあって米国に現れたのがロバート・ハッチングス（1899～1977）でした。彼は30歳の若さでシカゴ大学の学長職に就きました。彼が提唱したのは自由学芸の復興でした。

『偉大なる会話―自由への道標』（田中久子訳、岩波書店、1956年）の「序」の中で、戦前は国体思想やナチズムと理論的に対決し、戦後は平和憲法の審議にかかわり、全面講話を唱えた良心的政治学者の南原繁は次のように書いています。

博士は、実に現代アメリカの機械的技術文明と、それから生じた誤れる職業教育に対して、誰よりも果敢な批判者であるばかりでなく、新しい教育理念と方法をみずから提唱、実践した改革者と称していい。

その提唱する教育の理念は、ギリシア以来、現代に至るヨーロッパ伝統の偉大な思想家たちの「大著述」Great Booksから抽出される。…

されば、現代あまりにも専門化し、特殊化した各専門家は、それぞれの根底に横たわる人間的基盤を、これらの大著述において見出すことができる同時に、それらはひとり学者や一部階級の間にだけでなく、ひろく現代青年並びに成人の教育を通じて、今後国民大衆の教養の書として、理解し、弘布されなければならない（iii, iv頁）。

つまり、ハッチンズは学位が形骸化し、就職のための実用教育が大学において闊歩し始めた時に、まさに時流と正反対のことを行なったのです。ヨーロッパの古代から近代に至るまでの名著を体系的に読むプログラムを大学教育の柱としたのです。

現代は大量殺戮兵器の時代です。一瞬のうちに億という単位の人間の生命が奪われてしまう時代です。ヒロシマ、ナガサキ以来、核兵器が使用されなかつたのは奇跡といって良いほどの人間の業ならぬ神様の憐れみでしょう。超大国が予防的先制核攻撃の可能性を広言してはばかりない現代という時代において、ハッチンズの言う「職業主義、科学万能主義、専門主義」(183頁)を追求する大学教育は無力であると言ってよい。大著述との対話を通してわれわれは現代の社会や文化を洞察するための根源的な視点が獲得されなければならないとハッケンズは考えているのだと思います。何故ならそうして得られた根源的視点をもって一人一人が現実社会を見据え、主体的に関わって行くとき初めて、平和は人間の業としてもたらされる可能性が生じるのです。メースフィールドが言うように、大学が美しいのは、そのような根源的視点を築くための内的対話をし、その成果を分かち合う場が大学であるからなのだと思います。

日本は江戸から明治に時代が変わった時が前近代から近代へのポイントの切り換えでもありました。当時の日本にとって近代化は西洋化がありました。鹿鳴館に戲画的に象徴されるように、ヨーロッパの制度を短い時間に強引とも思われるような手法で導入しました。その典型的なものが官僚制度と国民軍の創設でした。この官僚制と天皇の軍隊を梃子にして脱亜入欧の路線を軸にアジアに侵略しアジアを荒廃させました。そして敗戦です。

外的制度は器です。器に入った中身のヨーロッパの精神を理解し咀嚼するための努力は「天皇は神聖にして侵すべからず」と定めた帝国憲法のもとでは充分なものではなかった。「和魂洋才」という美名のもとに西洋思想を学ばないことがむしろ正当化されました。ヨーロッパの精神には侵略を忌避し平和を守る思想が厳然と存在していたのです。世界が網の目のように結ばれた現代にあって極東の日本の大学の場でヨーロッパの大著述に代表される深い教養の書とじかに内的対話をする意義は益々深まってい

ます。その大著述を著わした偉大な人物との内的対話をする時間こそ教養の語学と信ずるわたくしは時代錯誤なのでしょうか。

(ここでは教養の語学としてのアジアの言葉は触れませんでした。近代においてアジアは欧米列強と日本により侵略を受けました。そのアジアの言葉をかつて侵略者の側にいた日本において教養の語学として学ぶということについては別の角度から考察しなければならないと思うからです。)

付記：

ロバート・ハッチンズの名前は中学生の時、ラジオFM愛知の読書をテーマにした番組に参加した際、担当のアナウンサーから聞いたのが最初です。それ以来、一風変わったこの人を忘れることが出来ません。

ケネディの演説については昨秋、米国大統領選の直前に車道キャンパスで國弘正雄先生が行なわれた講演の中で知り、長谷川潔訳注の『ケネディ大統領演説集』(南雲堂)を早速購入し、読んでみました。

イスラム文化については、先年『中国思想文化辞典』(東大出版会)の「外来宗教」の項目を担当したときに、大いに学ぶことが出来ました。フンケ『アラビア文化の遺産』(みすず書房)などが面白いでしょう。誤解を恐れずに言えば、ヨーロッパ文化のふるさとはイスラム文化であり、イスラム文化のふるさとはギリシア文化であるということでしょうか。近代になり、西欧列強の帝国主義的侵略の拡大により、世界に国民国家の雛型が輸出され、国境が画定されました。

イスラム世界においては国家よりもイスラムという共同体の全体性が優先し、人々はその中で自律的に自由に生活していました。人々は国家に従属し国家に拘束される国民ではなく、イスラム共同体の一員、ムスリムでした。国境の画定はイスラムの民としての生き方の幅に大きな制約を加えるものでした。愛し合うべきイスラムとヨーロッパの民の間に高い垣根が築かれました。そして現代に至ります。イスラムとキリスト教双方の預言者であるナザレのイエスの「平和を実現する人々は、幸いである。その人々は神の子と呼ばれる。」(マタイ5の9)という言葉を噛み締めたいものです。

台灣遊学記 —花粉を逃れて—

非常勤講師 上野由紀子

この春、大量の花粉から避難するために（！）約3週間台北に滞在した。ところが今年の台北は花粉どころか10年ぶりの寒波と連日の雨で、春節（旧正月2月9日）以後も南国らしい天気に恵まれることはなかった。

ふり返れば16年ぶりの台湾再訪、この機会を利用して語学学校（TLI中華語文研修所）で中国語の個人レッスンを受けることにした。（グループレッスンは3ヶ月以上の長期のみ）

この学校は現地で中国語を学ぶ留学生や駐在員及びその家族が多く通っており、最近では日本の警察官も長期で留学しているとのことだった。

久々に習う立場に身を置き、最初少々緊張感はあったものの結構充実した毎日だった。朝、もよりの地下鉄の駅から学校までは約15分。地下鉄の駅に行く途中は市場や屋台、そしてすさまじい騒音のバイクの群れと派手な廟といった台湾の下町らしい風景が続く。

ところが地下鉄（MRT）内は地上の喧噪とはうってかわって、とても静かで整然として、台湾らしくなく不思議な気持ちにおそわれた。（地下鉄構内は飲食禁止）

中華語文研修所の個人レッスンは1回が50分。私は毎日午前中2回続けて受講した。わずか2時間あまりの授業だったが1対1のレッスンは結構疲れた。1時間目はなるべく積極的に話すようにしたが、2時間目になると集中力がとぎれ、聞く一方になってしまった。

反応の速い事務

この学校の先生は明るくて、フレンドリーな人が多かった。またほとんどの先生がチャイムと同時に授業を始めていた。それでもなかには時間に遅れてくる先生もいた。わずか5分ぐらいなのだが、ほかの先生が先を争うように授業を始めているのを見ると、何となく不満だった。しかし直接、先生には言いづらい。たまたま学校内で知り合った関西出身の日本人女性にこのことを言うと、「何でも事務局に

言うたらええのよ。」の一言。ちなみに彼女の中国語は初級レベルだが、持ち前の明るさと積極的な性格で何かあると事務局に意見（文句？）を言いに行くそうだ。

また彼女の話では受講生の方から先生を指名できるし、また逆に自分の要求にあわない先生は受講生の方から拒否もできるらしい。

日本は要求を言わなくても何となくお互いに察しあう社会である。しかしここ台湾ではこちらが何も言わなければ、当然相手は何もしてくれない。当然ながら授業に遅れてくる先生は私の不満に少しも気づく様子はなく、明るい笑顔で私に接してくる。私は直接先生に文句（？）をいう抵抗感と事務に言つても取り合ってくれないのでないかという不安感で、少々自分にブレーキをかけていた。

しかしこの関西女性の熱い激励のおかげで、私は事務局のマネージャーを訪ねてみることにした。遅刻する先生や教科書を間違って持ってくる先生（！）のことなどこれまでの不満をあれこれ話した。すると彼女はこころよく私の話を聞いてくれ、何かあつたらいつでもすぐに自分に言ってほしいと言ってくれた。

その後、遅刻常習者の先生は遅れなくなり、たまに遅れると「ごめんなさい、今日は5分遅れたので授業を5分延長します。」と言うようになった。その後、私は何かあるとすぐに事務局に言いにいくようになった。対応の速い事務局にあれこれ言いに行くことは、一種の快感となつた。これはこの学校だけではなく、私が滞在していたホテルや一般の店でもみな同じように親切だった。

ところでこの学校は授業が終わると、すぐ帰る人がほとんどで、特にわたしのようなプライベートレッスン生は他の受講生としゃべる機会はあまり多くなかった。そのために授業以外は全く沈黙の日々となってしまう危険性があった。

それに台北社会は日本とあまり変わらない。あれこれ聞かなくてもよいくらい日本人にとっては違和感なくすごせる便利な街である。女性一人でも入りやすい店が多く、よく利用したセルフサービス（自

助餐) のレストランでは私同様、独りで食べている女性の姿がよくみられた。また長居しやすいカフェも多く、とても過ごしやすかった。滞在していたホテルも何のトラブルもなかった。つまり特にあれこれしゃべらなくても何となく過ごせるのである。これは便利なようだが語学の練習にはならないし、寂しい面もある。近代化された都市は人と人の会話の機会を減らすのかもしれない。そういう意味で事務局へいってあれこれ文句(?)を言うのは貴重な会話の練習の場でもあった。

フレンドリーな先生と退屈なテキスト

最初の1週間はちょうど学期の終わりの週にぶつかったため、学校側はとりあえず、あいている先生を私の担当とした。そのため先生が毎回変わり、そのたびに自己紹介をし、自分の学習目的を先生に伝えなければならない。同じ事を何度も言るのは少々面倒だったが、ほとんどの先生は反応が速く、こちらの要求をすぐ理解してくれたので、いろいろすることもなかった。

先生たちの多くは女性で、両親ともまたは両親のいずれかが外省人(1949年前後に中国大陸から台湾に渡ってきた人)が多く、一応共通語(台湾では国語という)は話せる。ただしそり舌音は比較的浅く、アール化もほとんどないし、軽声も少ない。

私たち中国語学習者は共通語地区である北京など北方の街では比較的聞き取りやすい。しかし台北の街中では大陸の南方の街と同様、方言あるいは南方的な普通話がよく耳にはいってきた。

この学校で私は『两岸遊』という(一応教材が必要ということで)テキストを使った。内容は一人の英国人青年が最初に台湾それから大陸を旅行し、中国文化、中国社会に触れるというものだった。

しかし10年前に作られたこのテキストは、すでに300万人近い台湾人が観光、ビジネス等で大陸を訪れ、交流がすんだ現在、内容的にはかなりずれた部分があった。

一方教師たちの中にも親戚訪問や観光で大陸を訪れたことのある人もいた。言葉の点では全く問題がない彼女たちの大連に対する印象(肯定的、否定的な部分)は私と共通する点もありおもしろかった。

また『两岸遊』のテキストは台湾で使用されている繁体字と大陸で使用されている簡体字の2種類の

本文があり、大陸で使われている発音記号ピンインも使用していた。台湾は一般的には注音字母という発音記号を使用するが、教師の方は大陸で使われている発音記号のピンインを理解しており、台湾での中国語教師の変化に驚かされた。

猫好きの二人の女性

2週間私の担当だった2人の教師とは、最後の1週間、この退屈なテキストを離れ、ほとんど“聊天儿”(おしゃべり)となった。どちらも日本女性の生き方に興味があるらしく、あれこれ聞いてきた。なぜ日本の有能な女子アナウンサーは年下の有名スポーツ選手と結婚して仕事をやめるのか、日本の高学歴の女性は結婚後や出産後なぜ仕事をやめるのか。一応日本社会の実情を説明するが、それは女性が社会から逃避する生き方に見えるらしい。台北ではフイリッピン人のお手伝いさんを雇って、家事や子どもたちの面倒をみてもらって仕事を続けている女性も多いらしい。逆に戦前の日本統治下で育った年配の先生は育児のために仕事をやめる(やめざるを得ない場合も含んで)日本女性の生き方を絶賛し、台湾女性の世代間の考え方の違いを強く感じた。

日本と同様に少子化が進む台湾。女性が結婚し、子供を持つことを当然とすることに対して、社会的な圧力は多少減ったようだが、家族からの圧力はまだ大きいらしい。30代後半の女性教師は地方出身で、この台北で猫とシングル生活を満喫している。彼女は恋人と一緒に暮らすのは楽しいが自由がなくなる、ただ1人は自由だけれど寂しいとも言っていた。シングル化する日本社会を台湾に見る思いがした。

同じように猫とそれに夫と暮らす占い好きの30歳の教師は子供はいらないと言っていた。ちなみに猫は犬と違い、台湾ではペットとしては人気がないらしい。彼女はかつて幼稚園の英語教師をやったことがあり、幼い子供たちが遊び時間や昼寝時間も制限され勉強させられている様子を間近に見て、子供を持つ気持ちがおこらなくなってしまったと言っていた。

ただしどちらの女性も家族(親、兄弟)との結びつきはとても強く、あらためて台湾人の家族の重みを感じた。台北でこの猫好きな2人の女性との出会い、年齢、国を越えた意義ある(?)“聊天儿”(おしゃべり)ができたことは私にとっては花粉から身を守るのと同様大きな収穫であった。

LL Tea Time

日本を知ろう



協定留学生

朴 鎮 雅

私は韓国の中央大学校から来た朴 鎮雅と申します。今年の4月から愛知大学の協定留学生として1年間勉強することになりました。

初めて豊橋に来て受けた印象は静かな町で、私が住んでいたソウルとはずいぶん違うことでした。でも、海や山が近くにあって、自然に恵まれていてとてもいい所だと思っています。

ここに来て約3ヶ月経ちますが、ちょっと驚いたことがあります。それは子供からおばさんまで、普通に自転車に乗ることです。日常生活で毎日自転車に乗ることが韓国ではありません。愛知大学の学生も自転車に乗って通学する人がたくさんいます。韓国では地下鉄やバスで通学するのが多いです。そして日本は自転車を利用するが多いから、そのための環境もいいと思います。例えば、歩道橋が階段になっている所もあるし、自転車が通れるように階段になっていない所もあることです。それは、ここに来て初めて見ました。それから、愛知大学は私が通っていた大学より施設がいいと思いました。特に3号館のLL自習室は語学を勉強する学生にすごく役に立つと思いました。そして、韓国の大学と違う所がありますが、それは昼休みの時間です。ここでは12時30分から1時20分まで昼休み時間となっていますが、韓国ではありません。それでいつも昼ご飯をちゃんと食べませんでしたが、ここでは昼ご飯を食べられてうれしいです。韓国では11時30分から1

時30分までの授業はなるべく避けたり、休み時間10分間に簡単に済ましたりしました。

日本に来て韓国と違う文化や生活を経験していますが、それが私にとってはすごく楽しいです。これからもたくさんの文化の違いを身を以って経験したいと思います。

日本を冒険する



協定留学生

シモエス・エリザベット

去年の9月に日本へ来たフランスのエリザベットと申します。日本へ来た理由は日本語を深く勉強したいと思いました。しかし、次第に日本に夢中になって、今ではまだフランスへ帰る準備ができていません。

日本に来てから、様々な体験ができる、とてもうれしいです。まず日本がどんどん好きになっていったのは愛大のおかげです。はじめて入った時、キャンパスが全く小さいと思いました。でも実際は便利だと分かりました。早く端から端までいけます。授業が終って、食堂に食べに行って、そして授業に戻りやすいです。フランスの大学と日本との違いはサークルです。フランスの大学にはサークルがぜんぜんありません。そのため、サークルに入った時、びっくりしました。友達になって、その上に家族のようになります。一緒に様々なイベントをします。クリスマス、誕生日など。

次に一番おどろいたことは日本人の親切です。問題がある時、日本人はすぐ手伝ってくれます。例え

ば、東京に行った時、東大を絶対に見に行きたかったです。道に迷ったので、優しい女人にたずねたら東大まで一緒に行ってくれました。遠かったのに、我々と一緒に送って行ってくれました。そして、もう一つおどろいたことは日本の自然です。一般的にフランス人は日本は豊かな風景であるというイメージを持っています。日本の自然とフランスと比較したら、全く違うと思います。フランスで「となりのトトロ」という宮崎の映画を見ていた時、「日本は本当にこれでしょうか」と私は自問しました。日本に来てすこしづつこれが本当のことだと分かるようになりました。

最後に日本について、様々な習慣があることが分かりましたが、まだ100パーセント慣れていないと思います。なかでもなかなか慣れることができなかったのは日本人がはっきり自分の意見、感情など言わないことでした。例えば、はじめて友達を誘った時は「ちょっと」と言いました。私は「ちょっと、何?」と思いました。本当におかしな習慣だと思いました。しかし今すこしづつ分かるようになりました。日本人の考え方にも慣れてきました。今では私は自分が「ちょっと」と言っていることに気づきました。

ドイツ留学体験記

文学部 4年
的 場 徹

私は2004年3月末から約1年間大学の交換留学プログラムを利用して、ドイツにあるブレーメンという町に住むこととなりました。観光ガイドブックにあるように、1200年の歴史をもつ古都として有名なブレーメンは、レンガ造りの建築が町の中いたる所で見られます。特に旧市街地では、市庁舎や大聖堂などの名建築が並んでいます。またヴェーザー川沿いに開けた国際商業都市としての側面を持ち、ドイツ第2の貿易港でもあります。

ちょうど旧市街地から市電かバスを乗り継いで10

分程したところに私の生活したアパートがありました。そこでは学生もしくは企業研修生の計5人による共同生活で、ドイツ人を含めヨーロッパの様々な国から来た人たちがいました。初めての海外留学になる私にとって、見た目や育ってきた文化の違う人々との生活にはじめは不安を持っていました。しかし振り返ってみると、お互い同世代だったせいか問題などは全くなく、楽しかった思い出ばかりです。週末は一緒にパーティーへ出かけたり、サッカー観戦をしました。料理も一緒に作ったり、自分の国の料理を紹介したりしました。あまり上手でない私の料理も興味深そうに見ながら、おいしいといって食べてくれました。みんな集まつた時には、たいていは最近あった出来事や旅行に行った話をしたりしていましたが、時には将来について議論することもありました。

ドイツでは余暇活動に多くの時間と労力が使われます。家計でいうと所得の10~15%が費やされています。それが可能なだけのソフト面が充実していて、私も映画、演劇、オペラ、美術館・博物館など多くの体験をしました。そして私にとって余暇活動のなかで多くのウエートを占めたフェラインでの活動も、充分に楽しむことのできるものでした。

ドイツにはフェラインという団体があります。通常「協会」と訳されますが、N P O法と同類の法人格です。そもそもフェラインは18-19世紀のドイツにおいて近代化の流れの中で、身分や職業を超えた同好の士の集まりであると同時に公益に尽くすなどの理念と役割をもって盛んに作られました。現代でも基本的理念はそのままにフェラインは活発に運営され、ドイツで生活する人々の豊かさにアクセントをつけています。現在もドイツ国内で100万を越すフェラインがあるといわれています。



私の所属したフェラインのメンバーと

私は Turn und Sport Verein Woltershausen のサッカー部門に所属していました。訳すと、体操とスポーツのフェライン Woltershausen です。Woltershausen とは、私が住んでいたところの地域名です。もちろん住んでいる地域にあるフェラインに限らず、フェラインを選択する自由はあります。しかしホームページでいくら調べても、実際に見てみるまでイメージがわからず、どのフェラインに入るか迷っていました。そんな時にある張り紙を見つけました。それはフェラインのスポンサーとなっている銀行の支店、レストラン、パン屋などによって対戦相手と試合時刻を載せた簡単なポスターが貼り付けられたものでした。

地図を見て、競技場に行ってみたところ、施設とそれを利用する人々（試合をする人達と応援する人々）の雰囲気がとてもよかったです。早速掲示板を見て参加登録の申請をしました。施設は、芝のグランドが2面と土のグランドが1面ありました。さらに、クラブハウスがあって、そこにはパブ、ミーティングルーム、更衣室、シャワー室が完備されていました。練習は、毎週火曜日と木曜日の7時から2時間弱、グランドで行われていました。ミーティングルームに集合、練習、パブというものが基本的なサイクルでした。集合前と帰り際に、挨拶として一人一人に握手する習慣が印象的でした。そして、土曜日か日曜日には試合が行われていました。私も公式試合に出場することができました。試合には地元の人や家族、友人が応援に来てくれました。アウェーでの試合はほかのクラブの様子を知るいい機会で、とても楽しかったです。

2泊3日の遠足、メンバーの結婚式、レストランでの会食、バーベキュー、花火大会など色々なイベントがありました。最後には私のために小さなお別れ会をしてくれました。みんなのサイン入りユニフォーム、写真、フェラインのオリジナルマフラー等たくさんものをくれました。振り返ってみると、拙いドイツ語しかはなせない私を受け入れてくれ、約1年間親切に面倒を見てくれたフェラインの人々がいました。偶然にもそこで活動できたことは本当に幸運であったと思います。

フェラインの体験について多く紹介しましたが、もちろん学校の出来事や旅行などほかの留学生と同じように様々なことを学びました。あっという間にすぎた1年間でしたが、多くの人たちと出会い、いろいろなことを知ることのできた貴重な日々だったと思います。

外国語検定試験奨励金について

語学教育研究室では外国語検定試験合格者に奨励金（図書券）を贈る自主学習支援の制度を設けています。2004年度は延べ99名の学生に奨励金が贈られました。

2005年度も下記により受付しますので合格者は申し出てください。

記

1. 対象学生

愛知大学豊橋校舎 学部及び短大の学生
(留別生含む。)
(大学院生、オープンカレッジ生、科目等
履修生、研究生は除く。)

2. 奨励基準

追って教務課及びLL自習室の掲示板に示します。

3. 受付期間

2006年1月16日(月)～1月31日(火)

4. 手 続

学生証及び合格通知書を3号館LL自習室
カウンターまで持参し、申請して下さい。

5. 奨励の対象

2005年2月～2006年1月の間に合格した検定試験で、同一言語は1試験のみです。

6. その他

TOEFL、TOEICで対象外の試験がありますので、掲示で確認して下さい。